

第83回全日本学生ヨット選手権大会

開催地	愛知県蒲郡市 豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖
大会期間	平成30年10月31日(水)～平成30年11月4日(日)
共同主催	全日本学生ヨット連盟、中部学生ヨット連盟
公認	公益財団法人 日本セーリング連盟【H30-19】
後援	蒲郡市、中部ヨット協会、愛知県ヨット連盟、日本470協会、日本スナイブ協会
特別協賛	日建レンタコム株式会社、日建リース工業株式会社、日建片桐リース株式会社
協賛	明治商工株式会社、株式会社伊藤園、株式会社ゴールドウィン、蒲郡市観光協会 株式会社ノースセールジャパン
協力	豊田自動織機海陽ヨットハーバー、蒲郡温泉 平野屋

レース公示

「SP」 レース委員会から審問なしにまたは、プロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティが課せられる。

「NP」 艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則60.1(a)を変更している。

1. 規則

- 1.1 本大会は「セーリング競技規則 2017-2020」(以下、『規則』という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 規則の定義にある規則(g)には全日本学生ヨット連盟にて入手することができる以下の文書が含まれる。
 - (1) 全日本学生ヨット連盟規約
 - (2) 470級学連申し合わせ事項
 - (3) スナイブ級学連申し合わせ事項
 - (4) 艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項
- 1.3 付則Pの「セール番号」を「艇の識別番号」に置き換え適用する。
- 1.4 SCIRA規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。
- 1.5 規則41に以下を追加する。
『(e) 自チーム内での情報の交換』
- 1.6 規則60.1(b)に以下を追加する。
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または障害に基づいて、救済要求を行うことはできない。』

2. 競技種目

470級、スナイブ級

3. 資格及び参加申し込み

3.1 参加資格

- (1) 本大会には、各水域にて予選を行い、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学が参加できる。
- (2) 各水域の推薦枠は次の通りとする。

470級	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州
基本枠	1	1	6	1	2	2	1	1	2
特別枠			2		1	1			2
開催地枠				1					
合計	1	1	8	2	3	3	1	1	4

スナイブ級	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州
基本枠	1	1	6	1	2	2	1	1	2
特別枠			2		2	1			1
開催地枠				1					
合計	1	1	8	2	4	3	1	1	3

- (3) 参加チームの競技者は、次の事項を満たしていなければならない。
 - (a) 2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (b) 全日本学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。
 - (c) 470級の競技者は、日本470協会の2018年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (d) スナイブ級の競技者は、2018年度SCIRA会員であること。
- (4) 参加チームの監督およびコーチは、2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

3.2 参加申し込み

- (1) 参加資格のあるチームは、申し込み書類一式を平成30年10月9日(火)必着で電子メールで送信するとともに、要求された書類を添付し平成30年10月11日(木)必着で郵送することにより参加申し込みすることができる。
参加申込書2は競技者名簿であり、マネージャー等の選手以外の名前は記載してはならない。
- (2) 電子メールで送信が必要な申込書類は以下のとおり、Excel形式のまま電子メールに添付すること。
 - ① 参加申込書1
 - ② 参加申込書2 (競技者名簿：スナイブ級の競技者は、SCIRA会員番号を記載のこと)
 - ③ 参加申込書3 (支援艇許可申請書)
- (3) 郵送が必要な申込書類は以下のとおり。
 - ① 参加申込書1
 - ② 参加申込書2 (競技者名簿：スナイブ級の競技者は、SCIRA会員番号を記載のこと)
 - ③ 参加申込書3 (支援艇許可申請書)
 - ④ 参加申込書2に記載した競技者全員が『2018年度(公財)日本セーリング連盟』の会員であることの証左。
 - ⑤ 470級は「INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM」の写し。
ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え「計測登録証明書」の写し。
 - ⑥ スナイブ級は「スナイブクラス計測証明書」の写し。
 - ⑦ 各水域で実施する「大会計測証明書」。
ただし、申込期日までに水域で大会計測が完了していない場合に限り、大会受付時まで猶予する。
- (4) 申込み期日までに支援艇が決定していない場合、大会実行委員会担当者に事前にその旨を連絡した上で、平成30年10月27日(金)必着で参加申込書3(支援艇許可申請書)を電子メールで送信することにより、支援艇許可申請書を提出することができる。
- (5) 期日を過ぎてからの申込み、期日時点での書類の不足または不備は、10月14日(日)までの提出に限り、レイトエントリー扱いとする。レイトエントリーはペナルティとして参加料を50%増しとする。
- (6) 期日を過ぎてからの艇または競技者の追加変更登録は、主催団体を納得させる合理的な理由を必要とする。
- (7) 参加申込先は以下のとおり。
第83回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会：真野 創太
〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原 1-4-26 ピボットヴァンペール 606号室
E-Mail：chubu_icyf@yahoo.co.jp

4. 参加料

4.1 参加料等は以下のとおり。

- (1) 参加料 80,000円/ 1校・1クラス
- (2) 識別番号料 6,300円/ 1校・1クラス (3艇分)
予備艇を登録する場合、2,100円/1艇が必要となる。
- (3) 施設使用料 上記参加料には、大会期間中の11月1日から11月4日の給水設備使用料が含まれるが、大会期間中分を含めて豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料は含まれない。
豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料及び、大会期間外の給水設備使用料は、参加チームの責任でハーバー窓口にて手続きを行い支払うこと。
- (4) 支援艇関連費 参加チームの責任でハーバー窓口にて手続きを行い支払うこと。

4.2 振込み期日は、平成30年10月11日とする。

4.3 振込先は以下のとおり。

三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番 532 普通口座 0090143

全日本学生ヨット選手権 (ゼンニホンガクセイヨットセンシユケン)

※ 銀行では「チュウブガクセイヨットレンメイ イシクラ トシヒロ」で表示されることがある。

振込は個人名ではなく、大学名とすること。

5. 艇

- 5.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。
- 5.2 470級は2018年団体登録を完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。
- 5.3 スナイブ級は2018年度SCIRA登録が完了し、かつ各水域での本大会の計測を完了していること。
- 5.4 予備艇使用は破損の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は各水域での本大会の大会計測を完了していなければならない。

6. セール

- 6.1 各チーム3セットする。なお、各チームとも3セットの予備セールを認める。
- 6.2 470級のセールは基本計測が完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。
また470クラス協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。
メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- 6.3 スナイブ級のセールは2018年度の年度計測が完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。
また2018年度SCIRAに登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。
- 6.4 両クラスとも同一のセール番号を同時に複数の艇で使用してはならない。
- 6.5 セール交換は破損の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。

7. 日程

- 7.1 受付・登録 平成30年10月31日 (水) 10:00 - 13:00
- 7.2 大会計測 平成30年10月31日 (水) 10:00 - 17:00
- 7.3 主将会議 平成30年10月31日 (水) 14:30 - 15:00
- 7.4 開会式 平成30年10月31日 (水) 16:00 - 16:30
- 7.5 レース日 平成30年11月1日 (木) - 平成30年11月4日 (日)
- 7.6 表彰式・閉会式 平成30年11月4日 (日) 15:30 -
- 7.7 レース日に行われるレース数は次のとおり。

日程	470級	スナイブ級
11月1日 (木)	3	3
11月2日 (金)	3	3
11月3日 (土)	3	3
11月4日 (日)	2	2
計画レース数	11	11

本大会で計画された全レースを行うため、当日までの計画に対して1レースを越えないまで、レースを前倒しで行う場合がある。

- 7.8 レース日の08:30より、ブリーフィングを行う。
レース日の470級の最初の予告信号予定時刻は10:00とし、スナイブ級の予告信号はその後に適宜発せられる。
- 7.9 11月4日は12:00より後に予告信号は発せられない。

8. 受付

- 8.1 参加チームは7.1の時間内に受付・登録を完了させなければならない。
- 8.2 申込期日までに水域で大会計測が完了していなかった大学は、各水域で実施した「大会計測証明書」を提出し、受付を完了させなければならない。

9. 計測

- 9.1 予備を含む艇は、計測前に受付時に交付される「艇の識別番号」を【添付図A】にある位置に貼り付けなければならない。
- 9.2 参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、各水域で実施した「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。
- 9.3 本大会の事前計測は、平成30年9月21日(金)以降に実施されなければならない。
「大会計測完了証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
- 9.4 テクニカル委員会が納得する合理的な理由がある場合に限り、各水域で出来なかった大会計測を会場地で行う場合がある。
大会で実施する計測料は、3,000円/1艇体、3,000円/セール1セットとする。
(注意：この場合の合理的な理由とは、参加チームの責任ではない理由で各水域で大会計測ができなかったことを指す。至近で艇体、セール等を購入し大会会場で受け取った等は、合理的な理由とはならない)
- 9.5 各日の最後のレース終了後、海上にてテクニカル委員会に呼ばれた艇は、指示に従いインスペクションを受けなければならない。

10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は9月30日(金)までに、各水域学連委員長宛てに送付するとともに、愛知県ヨット連盟のホームページに掲示する。
- 10.2 帆走指示書に対する事前質問は、10月21日(日)までに第83回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会宛てにメールで提出のこと。
事前質問に対する回答は、10月31日(水)の主将会議までに公式掲示板に掲示する。

11. 開催地

【添付図B】は「レース・エリア」を示す。

12. コース

【添付図C】は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含む「コース図」を示す。

13. 得点

- 13.1 大会の成立には、3レースを完了することが必要である。
- 13.2 クラス別のチーム得点は、完了した全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、より得点の少ないチームを上位とする。この項は規則A2を変更している。
- 13.3 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えてタイを解く。
- 13.4 総合得点は、両クラスに参加した大学の全ての得点の合計とし、より得点の少ない大学を上位とする。
- 13.5 総合得点がタイとなった場合は、その大学は同位とし、その次の順位を欠位とする。

14. 支援艇

- 14.1 支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇する全ての艇を指す。
- 14.2 支援艇のあるチームは、受け付け時に「参加申込書3」として提出した「支援艇許可申請書」の写しを提示することにより、「支援艇許可書」を受け取ることができる。
- 14.3 「NP」「DP」豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。
- 14.4 「NP」「DP」支援艇が乗員の乗降、機材の積み込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い使用料を支払わなければならない。
一時的に入港した支援艇は、乗員の乗降、機材の積み込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。
- 14.5 「NP」「DP」支援艇は水上にいる間、大会本部で貸与する『識別用リボン』を水面より1.5m以上の高さに掲揚するとともに、大会本部で支給される『大学名を記した表示』を外部より視認できるように掲示しなければならない。
- 14.6 「NP」「DP」支援艇は、レース委員会およびプロテスト委員会の通信を傍受してはならない。

15. 賞

賞は次のように与えられる。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 15.1 総合1位 | 総合優勝旗 (持ち回り)、賞状、賞杯 |
| 総合2位、3位 | 賞状、賞杯 |
| 総合4位-6位 | 賞状 |
| 15.2 各クラス1位 | 優勝旗 (持ち回り)、賞状、賞杯 |
| 各クラス2位、3位 | 賞状、賞杯 |
| 各クラス4位-6位 | 賞状 |

16. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則4『レースをすることの決定』参照。
主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. 大会期間中の肖像権

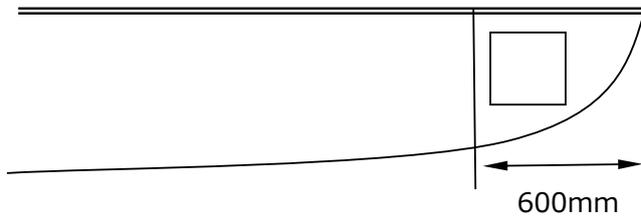
大会期間中の艇、選手に関する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。
これらはweb上に掲載されることがある。

18. 問合せ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

第83回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会：真野 創太
〒 460-0017 愛知県名古屋市中区松原 1-4-26 ピボットヴァンペール 606号室
E-Mail : chubu_icyf@yahoo.co.jp

【添付図A】「艇の識別番号」



470級 : 黒色の識別番号
 スナイプ級 : 赤色の識別番号

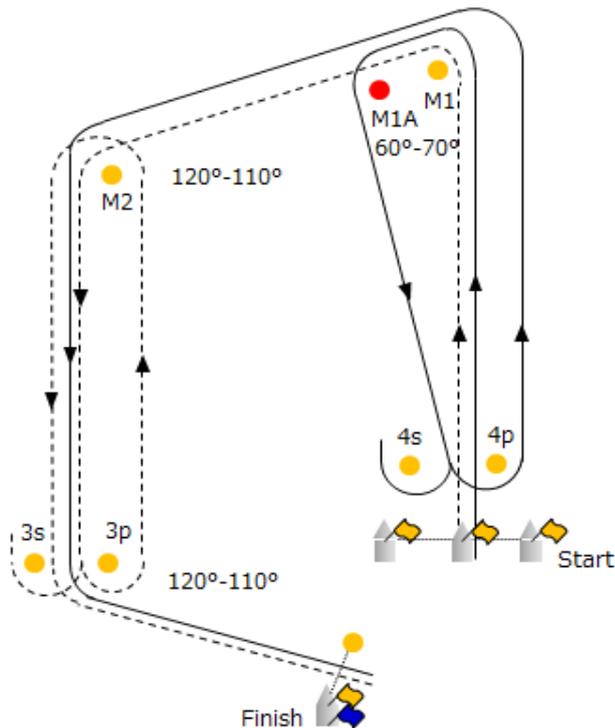
貼付け位置の若干の誤差は許容される。

【添付図B】「レース・エリア」



N 34. 47. 183 E 137. 16. 017を中心とした、φ1.4NMを「レース・エリア」とする。

【添付図C】「コース図」



コース O : 破線

スタート → M1 → M2 → 3p/3s → M2
 → 3p → フィニッシュ

コース I : 実線

スタート → M1 → M1A → 4p/4s → M1
 → M2 → 3p → フィニッシュ